



特別委員会報告

特定の問題や議会が特に必要と認めるときには、市議会で特別委員会を設けて調査または審査を行います。現在は、草津川跡地対策特別委員会、議会改革推進特別委員会、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会の4つの特別委員会を設置しています。このうち、草津川跡地対策特別委員会と議会改革推進特別委員会について、現在の活動状況を報告します。

草津川跡地対策特別委員会

8月23日に開催した委員会では「草津川跡地利用基本計画」(案)における事業費や整備優先地区、維持管理費等の説明を受け、質疑を行いました。

主な質疑応答は以下のとおりです。

議員 維持管理費が1億2千万円と高額になっているが、試算基準は何か。

市 一定条件での試算であり、実際には市民活動がなっていた部分や、入札結果にも左右されることから費用は下がるものと考えている。

議員 維持管理の一部をテナントや市民団体をお願いするという案も提示されているが、人が集客で

きるような管理・清掃がきちんとできるのか。また、そこまで求めるべき性格のものであろうか。

議員 草刈等の維持管理は本当に重労働である。机上ではなく、実態を踏まえた計画をお願いする。



この1年間で8回にわたる委員会や勉強会等を実施してきました。草津市民にとって重要な資源である旧草津川の跡地利用は重大な政策課題であることから、当委員会では、今後も草津川跡地利用基本計画の動向を注視しながら、有効な利活用に向けて議会としての提言ができるよう、協議・検討を進めてまいります。

※9月定例会の議決にて、名称を変更しました。旧草津川跡地対策特別委員会→草津川跡地対策特別委員会

議会改革推進特別委員会

議会改革推進特別委員会は、平成23年10月に設置され、より市民に開かれた議会を目指し、改革を推進する諸施策について調査・研究を行ってきました。これまでの主な活動内容について報告します。

主な活動内容

● 先進地視察研修の実施 (三重県伊賀市、四日市市)

(平成24年4月26日)

議会の方針・あり方を規定する議会基本条例の必要性と、制定に際しての市民参画や協働のあり方を共通認識し、活動の方向性を確認することを目的に、先進地視察を実施しました。伊賀市議会においては、条例策定にあたり、何度も市民の意見を聴取されたことや、四日市市議会においては、市民が主体となった市民参加を意識して進められることを伺い、市民と議会の懇談会の開催の契機となりました。また、モニター制度、議員の資質向上など、様々な視点から御教示いただきました。

《報告書は、市役所2階の情報公開室および市役所3階の議会図書室で御覧になれます。また、市議会ホームページでも御覧いただけます。》



● 議会改革研修会の開催

(平成24年5月22日)

江藤俊昭山梨学院大学教授を講師に迎え、「地域経営を担うための議会改革と基本条例」と題して議会改革研修会を実施しました。議会基本条例制定の必要性を再確認するとともに、今後の議会や議員のあり方、求められる役割について、議員全員で共通認識しました。

● 草津市議会傍聴規則の改正

(平成24年6月1日)

傍聴の際に受付簿に記入が必要であった住所、氏名、年齢の記載事項を廃止するなど、傍聴人の便宜を図り、傍聴を促進する視点から、草津市議会傍聴規則の見直しを行いました。



● 市民と議会の懇談会の開催

(平成24年7月14日～24日)

議会や議員に対する率直な意見や思いを直接聞いて、開かれた議会の一助とするとともに、今後の議会改革や基本条例の制定に反映させることを目的に、市民と議会の懇談会を開催しました。中学校区単位で、1会場を委員6名が担当し、一委員あたり3会場を巡回する形で行い、テーマを設けて約1時間半、意見交換しました。全会場合わせて延べ94名の方に御参加をいただき、議会の情報発信や意見聴取、市政への反映について、また、議会や議員のあるべき姿や改革を進める上での重要点などについて、御意見や思いをお聞かせいただきました。



結果報告まとめ（一部抜粋）

◎開かれた議会について

- ・情報を入手できる環境整備と、情報の質の高さの双方の向上が必要とされています。
- ・議員と市民との垣根を低くする取り組みが必要であり、民意を聴取する仕組みを持つことが必要です。

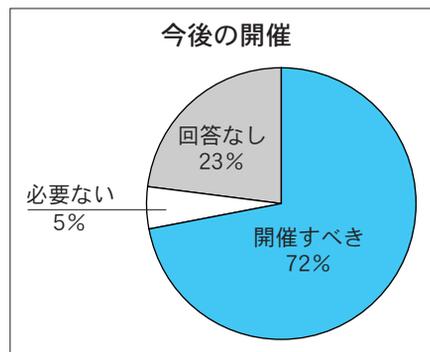
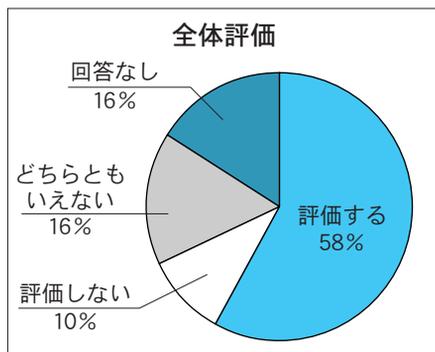
◎果たすべき役割について

- ・議員は、大所高所から判断を行い、優先順位を付け、成就に向け努力するとともに、結果を市民に説明する役割が求められています。

◎求められる役割について

- ・政策を提案、提言できる機能が今後は一層必要とされています。

〈アンケート結果〉



《報告書、アンケート結果は、市議会ホームページで御覧いただけます。》

各会場でアンケートを実施し、62名の方から回答をいただきました。回答者の6割近くが今回の懇談会を「評価する」と回答し、今後の開催については、7割以上が「今後も開催すべきだ」とする一方、課題として、より幅広い世代の参加や、もっと多くの参加ができるような周知が必要だといった御意見をいただきました。

● 市議会ホームページの改修

(平成24年9月1日)

市議会ホームページの改修を行いました。見やすいデザイン・検索しやすいデザインを心がけ、掲載情報の整理や、キッズページの新設、視察報告書の掲載など、情報発信の充実を図りました。

《市議会ホームページアドレス <http://www.kusatsu-shigikai.jp/index.html>》

1年間にわたって、議会・議員のあり方や必要とされる資質、また、議会基本条例制定の必要性などについて、調査・研究を重ねてきました。また、議会として初めて市民の皆様のもとに出向き、率直な御意見をお聞かせいただきました。それらの活動から、市民の皆様の意見を聴取する仕組みづくりの必要性や、説明責任、議会・議員の政策提案機能の充実などが、今後より一層求められていると認識しました。今後は、更に議論を深め、議員・議会活動を見直す中で、草津市議会の目指すべき議員・議会像を確立させて、議会基本条例の制定に向けて、調査・研究を進めます。